

Molygen New Generation 5W-40 20 L

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

セクション 1: 化学品及び会社情報

ラベルに使用される製品の識別子

製品名 Molygen New Generation 5W-40 20 L

他の識別手段 21329 (20 L)

化学品の推奨用途と使用上の制限

推奨用途 エンジンオイル
使用上の制限 知られていない。

安全性データシート供給者の詳細

供給者の詳細 LIQUI MOLY GmbH
納入業者の住所 Jerg-Wieland-Str. 4
89081 Ulm-Lehr
ドイツ
電話 (+49) 0731-1420-0
F a x (+49) 0731-1420-88
E メール(担当者) info@liqui-moly.de

緊急電話番号

緊急連絡用電話の番号 +49 (0) 6132 / 84463 24 時間

セクション 2: 危険性物質の特定

危険有害性の概要

製品の取り扱い: 蛍光 緑色 液体。 , 独特な臭い. 長期継続的影響によって水生生物に有害。 繰返して被爆すると、皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある。 皮膚および目との接触を避ける。 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん (鹸) で洗うこと。 皮膚が刺激された場合: 医師の診断/手当てを受けること。 環境への放出を避ける。 . 内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

物質または混合物の分類

以下に準拠: JIS Z 7252: 2019

物理的な危険性 分類されていない。
健康に対する有害性 分類されていない。
環境に対する危険 Aquatic Acute. 3; H402
Aquatic Chronic. 3; H412

表示要素

危険性を表す絵表示 割り当てられていない。

注意喚起語 割り当てられていない。

Molygen New Generation 5W-40 20 L

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

| | |
|---------|---|
| 危険有害性情報 | H402: 水生生物に有害。 H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害。 |
| 注意書き | |
| 安全対策 | P280: 保護手袋/保護眼鏡/保護面 を着用すること。 P273: 環境への放出を避けること。 |
| 応答 | 割り当てられていない。 |
| 保管 | 割り当てられていない。 |
| 廃棄 | P501: 内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。 |
| 他の危険有害性 | 繰返して被爆すると、皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある。 |

セクション 3: 組成/成分の情報

化学物質 - 該当なし。

混合物

GHS の分類 JIS Z 7252: 2019

| 物質の化学的特定名 | %W/W | CAS 番号 | EC 番号 | 化審法 官報公示 番号^ | 危険有害性分類 |
|--|-----------|------------|-----------|-----------------|--|
| 水素処理重パラフィン系石油留分 | 50 - <100 | 64742-54-7 | 265-157-1 | - | 分類されていない。 |
| 水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 20 ~ 50) | <10 | 64742-55-8 | 265-158-7 | - | Flam. Liq. 4; H227 Asp. Tox. 1; H304 |
| 溶剤脱ワックス重パラフィン系石油留分 | <5 | 64742-65-0 | 265-169-7 | - | 分類されていない。 |
| 亜鉛=ビス [0-イソプロピル=0-(4-メチル-2-ペンタニル) =ホスホロジチオアート] | <2.5 | 84605-29-8 | 283-392-8 | 2-2945 | Skin Irrit. 2; H315 Eye Dam. 1; H318 Aquatic Chronic 2; H411 |
| 硫化ドデシルフェノール=カーボネートのカルシウム塩 (過塩基化物) | <2.5 | 68784-26-9 | 701-251-5 | - | Aquatic Chronic 3; H412 |
| ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン | <1 | 36878-20-3 | 253-249-4 | 3-138 | Aquatic Chronic 3; H412 |
| Phenol, (tetrapropenyl) derivatives | <0.25 | 74499-35-7 | 616-100-8 | - | Skin Corr. 1C; H314 Eye Dam. 1; H318 Repr. 1B; H360F Aquatic Acute 1; H400 M 因子: 10 Aquatic Chronic 1; H410 M 因子: 10 |

H/P フレーズのテキスト全部分については、セクション 16 を参照する。^化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律 (MITI 番号)

当製品の分類に影響を与えるであろう他の成分または不純物はありません

セクション 4: 応急処置



応急処置の説明

吸入

吸入した場合: 呼吸が困難な場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚接触

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。皮膚が刺激された場合: 医師の診断/手当てを受けること。

目の接触

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。刺激があらわれ持続した場合、医師の手当てを受けること。

摂取

口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。

最も重要な症状および作用(急性および遅発性)

繰り返して被爆すると、皮膚の乾燥あるいはひび割れを引き起こすことがある。

医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

症状によって処置する。

セクション 5: 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺の火災に適切な。

不適切な消火剤

ウォ-タ-ジェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がることがあります。

当該物質または混合物に起因する特別な危険性

本品は引火性に分類されないが、火炎に接触するか高温にさらされると燃える。燃焼すると有毒な煙を発生することがある。燃焼生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素, フェノ<距, 窒素酸化物, 硫酸酸化物類, リン酸化物。

消火作業者の特別な保護具と予防措置

適当な距離から注意して消火すること。消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。環境への放出を避けること。消火活動による流出物を下水溝や河川を流入させないでください。

セクション 6: 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

注意 - 流出物は滑りやすい時もある。流出物を取り除く間、適切な保護具を着用する。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。喫煙禁止。適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。蒸気一の吸入を避けること。摂取しないでください。飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

環境的予防措置

環境への放出を避けること。排水路、下水道または水路に入らないようにする。

封じ込めと清掃のための方法および資材

そうするのが安全であれば、漏出元を隔離する。蒸気は空気より重い; くぼみと閉鎖空間に気を付ける。適切な換気を確保する。流出物を砂、土または適切な吸収剤に吸収させる。廃棄用の容器に移す。流出した場所を水で洗う。

セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

安全な取り扱いのための注意事項

適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。適切な換気を確保する。蒸気の吸入を避けること。摂取しないでください。飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。~から離すこと: 昇温. 高い産業衛生水準を維持します。取扱い後は手を完全に洗うこと。作業場所では飲食、喫煙を行ってはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。

安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

容器を密閉しておくこと。熱源および着火源から離れた、換気の良い (乾燥した) 冷所/低温の場所に貯蔵すること。

保管温度

涼しく換気の良い場所に保管してください。

混触危険物質

~から離すこと: 強酸化物類.; 強酸およびアルカリ。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

職業暴露限度

確立されていない。

生物学的暴露指数

確立されていない。

適切な工学的管理

より高度なレベルの保護具が必要かどうか、作業工程と潜在的暴露の程度を考慮する。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。飲食及び喫煙前には手を洗うこと。適切な衛生管理方法および雑務実施方法. 眼と皮膚を洗浄するための洗浄施設/洗浄水があること。

個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置

高い産業衛生水準を維持します。適切な保護具を着用すること。直接的な接触を避けること。蒸気の吸入を避けること。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。作業場所では飲食、喫煙を行ってはならない。

保護衣は、扱う有害物質の濃度と量に応じて、作業場所専用を選択する必要があります。保護服の化学物質に対する耐性は、それぞれの供給業者に確認する必要があります。

目/顔面の保護



適切な目の保護具を使用する。(推奨: EN166). 洗眼ボトルを準備しておかなければなりません。

皮膚の保護



許容される透過試験による頻繁な作業や長期間の作業に適した耐薬品性保護手袋を着用します。汚染された手袋は、再使用する前に慎重に水ですすいでください。

(以下と同等または類似: EN 374)

呼吸器の保護



室内が十分換気されていれば呼吸用保護具は必要ない。換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項

予想されていない。

セクション 9: 物理的および化学的性質

基本的な物理化学的的特性についての情報

| | |
|-------------------|---|
| 外観 | 蛍光 緑色, 液体。 |
| におい | 独特な臭い |
| 臭いの閾値 | 確立されていない。 |
| pH 値 | 確立されていない。 |
| 融点/凝固点 (°C) | 確立されていない。 |
| 初留点と沸騰範囲 (°C) | 確立されていない。 |
| 引火点(°C) | 230 °C |
| 蒸発速度 | 確立されていない。 |
| 燃焼性 (固体、ガス) | 該当なし。 |
| 上限/下限可燃性または爆発限界 | 確立されていない。 |
| 蒸気圧(mm Hg) | 確立されていない。 |
| 蒸気密度(空気=1) | 蒸気は空気より重い |
| 相対密度 | 0,850 g/cm ³ |
| 溶解度 | 水に不溶。 |
| 分配係数 (n-オクタノール/水) | 確立されていない。 |
| 自己発火温度(°C) | 確立されていない。 |
| 分解温度(°C) | 確立されていない。 |
| 粘度(mPa.s) | 81,5 mm ² /s (40 °C) 14 mm ² /s (100 °C) |

追加性質

| | |
|-----|-------------------------|
| 爆発性 | 非爆発性。 |
| 酸化性 | 非酸化性。 |
| 密度 | 0,850 g/cm ³ |

セクション 10: 安定性及び反応性

| | |
|-----------|---|
| 反応性 | 普通の状態安定。 |
| 化学的安定性 | 普通の状態安定。 |
| 危険な反応の可能性 | 予想されていない。蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。 |
| 避けるべき条件 | 熱と直射日光を避ける。 |

混触危険物質

強酸化物類。; 強酸およびアルカリ。

危険有害性分解生成物

燃焼生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、フェノ<距, 窒素酸化物, 硫酸酸化物類, リン酸化物。

セクション 11: 有害性情報

毒性に関する情報

急性毒性 - 口

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

計算された急性毒性推定値 (ATE) : LD50 >2000 mg/kg 体重/日

急性毒性 - 経皮

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

計算された急性毒性推定値 (ATE) : LD50 >2000 mg/kg 体重/日

急性毒性 - 吸入

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

計算された急性毒性推定値 (ATE) : LC50 >20 mg/l (蒸気。)

皮膚腐食性/刺激性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

呼吸器感受性又は皮膚感受性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

生殖細胞変異原性データ

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

発がん性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

生殖毒性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

特定標的臓器への毒性 (単回暴露)

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

特定標的臓器への毒性 (反復暴露)

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

吸引性呼吸器有害性

これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

その他の情報

知られていない。

セクション 12: 生態学的情報

毒性

混合物。: Aquatic Acute. 3; H402: 水生生物に有害。

Aquatic Chronic. 3; H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害。

推定 LC50 (96 時間) 魚類: >10 に 100 mg/l

亜鉛 = ビス [0 - イソプロピル = 0 - (4 - メチル - 2 - ペンタニル) = ホスホロジチオアート]

Aquatic Chronic 2; H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

無影響濃度: 0.4 - 0.8 mg/l (OECD 211).

硫化ドデシルフェノール = カーボネートのカルシウム塩 (過塩基化物)

Aquatic Chronic. 3; H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害。

EU の分類および表示目録, ≥ 400 通知者

ビス (ノナン - 1 - イルフェニル) アミン

Aquatic Chronic 3; H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害。

NOELR (魚類) (34d) 10mg/l (OECD 201)

Phenol, (tetrapropenyl) derivatives

Aquatic Acute 1; H400 : 水生生物に非常に強い毒性。

M 因子: 10. EU 調和した分類.

Aquatic Chronic 1; H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

M 因子: 10. EU 調和した分類.

残留性および分解性

混合物全体としてのデータはありません。

Molygen New Generation 5W-40 20 L

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

| | |
|---|---|
| 水素処理重パラフィン系石油留分 | 物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない |
| 水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 2 0 ~ 5 0) | 物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない |
| 溶剤脱ワックス重パラフィン系石油留分 | 物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない |
| 亜鉛 = ビス [0 - イソプロピル = 0 - (4 - メチル - 2 - ペンタニル) = ホスホロジチオアート] | 容易には生分解されない。 分解: 1.5% (28 日) (OECD 301B) |
| 硫化ドデシルフェノール = カーボネートのカルシウム塩 (過塩基化物) | 利用できるデータなし |
| ビス (ノナン - 1 - イルフェニル) アミン Phenol, (tetrapropenyl) derivatives | 易生分解性なし (OECD 基準による)。 利用できるデータなし |
| 生物蓄積性 | 混合物全体としてのデータはありません。 |
| 水素処理重パラフィン系石油留分 | 物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない |
| 水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 2 0 ~ 5 0) | 物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない |
| 溶剤脱ワックス重パラフィン系石油留分 | 物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない |
| 亜鉛 = ビス [0 - イソプロピル = 0 - (4 - メチル - 2 - ペンタニル) = ホスホロジチオアート] | この物質は生物濃縮の可能性が低い。 専門家判断. ECHA 登録エンドポイント要約 |
| 硫化ドデシルフェノール = カーボネートのカルシウム塩 (過塩基化物) | 利用できるデータなし |
| ビス (ノナン - 1 - イルフェニル) アミン Phenol, (tetrapropenyl) derivatives | この物質は生物濃縮の可能性が低い。 利用できるデータなし |
| 土壌中の移動度 | 混合物全体としてのデータはありません。 |
| 水素処理重パラフィン系石油留分 | 物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない |
| 水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 2 0 ~ 5 0) | 物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない |
| 溶剤脱ワックス重パラフィン系石油留分 | 物質は複雑な UVCB である。このエンドポイントの標準テストは単一物質を対象としており、この複雑な物質には適していない |
| 亜鉛 = ビス [0 - イソプロピル = 0 - (4 - メチル - 2 - ペンタニル) = ホスホロジチオアート] | 利用できるデータなし. ECHA 登録エンドポイント要約: 研究は科学的に必要ではない. 分配係数: n-オクタノール/水: オクタノール/水分配係数: 0.56 (OECD 107). |
| 硫化ドデシルフェノール = カーボネートのカルシウム塩 (過塩基化物) | 利用できるデータなし |
| ビス (ノナン - 1 - イルフェニル) アミン Phenol, (tetrapropenyl) derivatives | この物質は土壌中での移動性が低いと予想される。 利用できるデータなし |
| オゾン層に対する有害な影響 | 予想されていない。 |
| 水素処理重パラフィン系石油留分 | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |

Molygen New Generation 5W-40 20 L

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

| | |
|---|---------------------|
| 水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 2 0 ~ 5 0) | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |
| 溶剤脱ワックス重パラフィン系石油留分 | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |
| 亜鉛 = ビス [0 - イソプロピル = 0 - (4 - メチル - 2 - ペンタニル) = ホスホロジチオアート] | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |
| 硫化ドデシルフェノール = カーボネートのカルシウム塩 (過塩基化物) | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |
| ビス (ノナン - 1 - イルフェニル) アミン | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |
| Phenol, (tetrapropenyl) derivatives | この物質にオゾン層破壊の可能性はない。 |
| その他の有害な作用 | 知られていない。 |

セクション 13: 廃棄上の注意

| | |
|---------------|---|
| 廃棄物処理法 | 内容を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。 空の容器と廃棄物は安全に廃棄すること。 環境への放出を避けること。 排水路、下水道または水路に入らないようにする。 |
|---------------|---|

セクション 14: 輸送上の注意

危険物輸送に関する UN 勧告 (the United Nations 'Recommendations on the Transport of Dangerous Goods') によれば、分類されていない。

| | ADR/RID | 国際海上危険物 | ICAO/IATA |
|---|-----------|------------------------|-----------|
| 国連番号 | 分類されていない。 | 分類されていない。 | 分類されていない。 |
| UN 適切な船積み名 | 分類されていない。 | 分類されていない。 | 分類されていない。 |
| 輸送危険分類 | 分類されていない。 | 分類されていない。 | 分類されていない。 |
| 輸送危険分類 | 分類されていない。 | 分類されていない。 | 分類されていない。 |
| 海洋汚染物質 | 分類されていない。 | 海洋汚染物質として分類 されていない。 | 分類されていない。 |
| 使用者に対する特別な注意事項 | 次の項を参照: 2 | | |
| MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠した バルク輸送 | 該当なし。 | | |

セクション 15: 適用法令

特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

| | |
|---------------|---|
| 通知対象物 | 水素処理重パラフィン系石油留分: $\geq 0.1\%$ 溶剤脱ワックス重パラフィン系石油留分: $\geq 0.1\%$ 水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 2 0 ~ 5 0) : $\geq 0.1\%$ |
| 表示対象物 | 水素処理重パラフィン系石油留分: $\geq 1\%$ 溶剤脱ワックス重パラフィン系石油留分: $\geq 1\%$ 水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 2 0 ~ 5 0) : $\geq 0.1\%$ |
| 有機溶剤。 | 該当なし。 |
| 作業環境負荷基準の管理濃度 | 該当なし。 |
| 毒物及び劇物取締法 | 該当なし。 |

Molygen New Generation 5W-40 20 L

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

化学物質の審査及び製造等の規則に関

する法律

| | |
|----------|---|
| 優先評価化学物質 | 該当なし。 |
| 既存化学物質 | 亜鉛=ビス [0-イソプロピル=0-(4-メチル-2-ペンタニル) =ホスホロジチオアート] ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン |

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)

クラス I 指定化学物質

亜鉛=ビス [0-イソプロピル=0-(4-メチル-2-ペンタニル) =ホスホロジチオアート] :
亜鉛化合物

J-MOSS (日本のリサイクル法および JIS C 0950)

該当なし。

消防法

第四類引火性液体 第二石油類 危険等級 III

セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 該当なし。 - V1.0

参考文献:

既存の安全データシート (SDS).

NITE 化学物質総合情報提供システム.

EU 調和した分類 以下を対象: Phenol, (tetrapropenyl) derivatives (CAS 番号 74499-35-7).

既存の ECHA 登録 水素化中性油を原料とする潤滑油 (C 20 ~ 50) (CAS 番号 64742-55-8); 亜鉛=ビス [0-イソプロピル=0-(4-メチル-2-ペンタニル) =ホスホロジチオアート] (CAS 番号 84605-29-8) と ビス (ノナン-1-イルフェニル) アミン (CAS 番号 36878-20-3).

EU の分類および表示目録 以下を対象: 硫化ドデシルフェノール=カーボネートのカルシウム塩 (過塩基化物) (CAS 番号 68784-26-9).

この安全データシートは、日本工業規格 JIS Z 7252 : 2019 および JIS Z 7253 : 2019 に従って編集されています。

| 物質または混合物の分類 以下に準拠 JIS Z 7252:2019 | 分類手順 |
|-----------------------------------|------|
| Aquatic Acute. 3; H402 | 積算 |
| Aquatic Chronic. 3; H412 | 積算 |

注釈

| | |
|-----------|--|
| ADR/RID | ADR: 陸路による危険物の国際運送に関する欧州協定 / RID: 危険物の国際鉄道輸送に関する規制 |
| CAS | CAS: 化学情報検索サービス |
| EC | EC: 欧州共同体 |
| EU | 欧州連合 |
| ICAO/IATA | ICAO: 国際民間航空機関 / IATA: 国際航空運送協会 |
| 国際海上危険物 | IMDG: 国際海上危険物 |
| LTEL | 長期暴露限界 |
| 無影響濃度 | 無影響濃度 |
| NOELR | 最大無影響負荷率 |
| OECD | 経済協力開発機構 |
| STEL | 短時間暴露限界 |

Molygen New Generation 5W-40 20 L

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

発刊日.: 31/07/2020
バージョン: 1.0

UN 国連

危険有害性分類 / 分類コード:

Flam. Liq. 4; 引火性液体, 区分 4
Skin Corr. 1C; 皮膚腐食性/刺激性, 区分 1C
Skin Irrit. 2; 皮膚腐食性/刺激性, 区分 2
Eye Dam. 1; 眼損傷, 区分 1
Repr. 1B; 生殖毒性, 区分 1B
Aquatic Acute 1; 水生環境有害性, 急性, 区分 1
Aquatic Acute 3; 水生環境有害性, 急性, 区分 3
Aquatic Chronic 1; 水生環境有害性, 慢性, 区分 1
Aquatic Chronic 2; 水生環境有害性, 慢性, 区分 2
Aquatic Chronic 3; 水生環境有害性, 慢性, 区分 3

危険有害性情報

H227: 可燃性液体。
H314: 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷。
H315: 皮膚刺激。
H318: 重篤な眼の損傷。
H360F: 生殖性に害を与えるかもしれない。
H400: 水生生物に非常に強い毒性。
H402: 水生生物に有害。
H410: 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。
H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。
H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害。

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順で関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

この出版物に含まれている情報または使用者様に提供される情報は正確であると考えられ、誠意を持ってご提供する一方で、使用者様は、各自の特定の目的に対して、製品の適合性に関する判断を自らの責任の下で行うものとしたします。LIQUI MOLY GmbH は、特定の目的に対する製品の適合性について一切保証いたしません。また、黙示的な保証または条件（法定またはその他）は、法律で除外が禁止されている場合を除き、除外されます。LIQUI MOLY GmbH は、本情報への依存に起因する損失または損害について責任を負いません（欠陥のある製品によって引き起こされた死亡、または人身傷害に起因するもので、それが証明された場合は除きます）。特許、著作権、意匠に基づく自由は想定できません。